

地域医療構想実現に向けた取組状況等

(令和5年度)

釜石保健医療圏（構想区域）の状況	1
岩手県立釜石病院	3
岩手県立大槌病院	4
独立行政法人 国立病院機構釜石病院	5
医療法人楽山会 せいてつ記念病院	6
医療法人（財団）仁医会 釜石のぞみ病院	7
医療法人（財団）仁医会 釜石厚生病院	8
庄子医院	9
医療法人堀医院 堀耳鼻咽喉科眼科医院	9

(具体的対応方針 構想区域総括表)

釜石構想区域

構成団体(釜石市、大槌町)

総面積(km ²)	640.77	基準病床数(床)	628	R07必要病床数(床)	549
-----------------------	--------	----------	-----	-------------	-----

(1)人口

	2023.10.1現在 (岩手県人口移動報告)	2020年人口 (国勢調査)	2025年推計 人口
圏域総人口	40,386	43,082	38,904
75歳以上人口	9,082	9,386	9,420
75歳以上比率(%)	22.5%	21.8%	24.2%

外来の完結率
(患者住所地)

圏域内	87.5%
盛岡	5.1%

(宮古1.8%、気仙1.5%)

(令和元年度本県独自受療動向調査)

2025年推計人口: 国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計):

(2)医療機関、介護施設の状況

総病院数	6
診療所施設数(特養医務室含)	29
地域包括ケア病床数	49
在宅療養支援診療所	3
在宅療養支援病院	1
訪問診療施設数	5
訪問診療実施件数(令和2年9月)	535
在宅看取り施設数	2
在宅看取り実施件数	5
医師数(常勤換算)	91.3
看護師・准看護師数(常勤換算)	523.9
薬剤師数(常勤換算)	22.8
PT・OT・STの総数	44.0
10万人当たりの医師数	209.3
10万人当たりの看護師・准看護師の数	1,201.0
10万人当たりのリハの総数	100.9
1人当たりの医療費(円)	629,196
1人当たりの介護費(円)	290,148

(3)療養病床の状況

病院名	病床数
釜石のぞみ病院	102

(4)介護施設等の状況

種類(施設数)	定員
介護療養型医療施設(0)	-
介護老人保健施設(3)	288
介護老人福祉施設(延べ7)	365
グループホーム(10)	144
特定施設(軽費老人ホーム等)(0)	-
サ高住(非特定)(0)	-

(5)人工透析患者の状況

医療機関名	(所在地)
岩手県立釜石病院	(釜石市)
せいてつ記念病院	(釜石市)

(6)リハビリテーション支援センター等

地域リハビリテーション広域支援センター せいてつ記念病院(釜石市)

備考 (R6.2.1現在)

【地域包括ケア病棟入院料届出病院】県立大槌病院(30床)、県立釜石病院(19床)
【回復期リハビリテーション病棟入院料届出病院】なし

出典

地域包括ケア病床数	地方厚生局届出受理医療機関名簿(R6.2)	医師の総数	R2 医療施設(静態)調査
在宅療養支援診療所	地方厚生局届出受理医療機関名簿(R5.12)	看護師の総数	R2 医療施設(静態)調査
在宅療養支援病院	地方厚生局届出受理医療機関名簿(R5.12)	薬剤師数	R2 医療施設(静態)調査
訪問診療施設数	R2 医療施設(静態)調査	PT・OT・STの総数	R2 医療施設(静態)調査
訪問診療実施件数	R2 医療施設(静態)調査	1人当たりの医療費(円)	R3 厚生労働省 医療費の地域差分析
在宅看取り施設数	R2 医療施設(静態)調査	1人当たりの介護費(円)	R3 介護保険事業状況報告
在宅看取り実施件数	R2 医療施設(静態)調査		

許可病床ベース

構想 区域	機能区分	具体的対応方針(許可病床)										R7 必要病 床数 D	差引 C-D	構想区域 の概況
		R4 病床数 A	R5 病床数 B	R7 病床 見込数 C	R7病床見込数(Cの内訳)									
					病院					有床診療所				
					県立 釜石	県立 大槌	国立 釜石	せいてつ 記念	のぞみ	庄子 医院	堀耳鼻 咽喉科 眼科 医院			
釜石	高度急性期	0	0	0								31	▲ 31	不足
	急性期	272	180	180	180							130	50	過剰
	回復期	169	169	169		50		119				165	4	過剰
	慢性期	334	334	334			180		154			223	111	過剰
	休床等	21	21	21						16	5	0	21	
	合計	796	704	704	180	50	180	119	154	16	5	549	155	

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	岩手県立釜石病院
-----	----------

診療科目	内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、形成外科、眼科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科
------	---

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	180					180.0
	稼働	180					180.0
	非稼働						0.0

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R02	139.0					139.0
	R03	135.0					135.0
	R04	143.0					143.0

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R02	51.3					51.3
	R03	51.2					51.2
	R04	58.6					58.6

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R02	16.3					16.3
	R03	15.5					15.5
	R04	17.0					17.0

病床機能(一般病床)	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R05報告		180				180
	R07見込		180				180

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期 令和5年10月1日開始) なし

○ 利用する補助金 なし あり 地域医療介護総合確保基金を利用 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。 次ページへ続く

地域医療構想実現に向けた取組シート

病院名	岩手県立釜石病院
-----	----------

2 病院の役割・特色

(1) 病院運営の基本方針、担う医療機能等

《病院理念》
 ○ 患者さん中心の安全で良質な医療を提供
 《基本方針》
 ○ 患者さんの人権を尊重し、その尊厳を守りながら医療を提供
 ○ 患者さん中心の医療を実践するため、患者さんの声をよく聞き、理解し、インフォームドコンセントに基づいた医療の実施
 ○ 根拠に基づいた医療の提供
 ○ 地域に密着した医療提供をするため、他の医療機関・施設との連携の推進
 ○ 患者さんの健康と生命を守るため、全職員は人間愛を持って自己研鑽に努め専門性を結集
 ○ 上記項目を実現、継続するために、健全な病院経営を目指す
 《医療機能》
 ○ 釜石保健医療圏唯一の急性期病棟の機能を担い、一般医療と救急医療を維持するとともに回復期患者や感染症に対応

(2) 保有する検査機器等(エックス線、CT、MRI、内視鏡等)

○ 超伝導磁気共鳴診断装置(MRI)1.5テスラ
 ○ 全身用X線CT装置 32列
 ○ リニアック
 ○ X線血管造影装置
 ○ 乳房X線撮影装置
 ○ X線テレビ装置
 ○ シンチレーションカメラ
 ○ 超音波内視鏡装置
 ○ 心臓用超音波診断装置
 ○ 産婦人科用超音波診断装置

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

○ 地域医療福祉連携室の体制強化による他医療機関、福祉、介護施設等との連携と役割分担の推進
 ・入院支援の充実・強化
 ・OKはまゆりネットでの情報共有や利用の促進
 ・OKスクラムネットでの情報提供や連携・協働の推進

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

○ 地域包括ケア病床の適切な運用の取組(令和6年2月から19床導入、診療報酬算定開始予定)
 ・退院指導や訪問診療・看護との連携による在宅復帰支援の取組
 ・在宅医療連携拠点チームかまいしとのネットワーク連携の活動
 ・レスパイト入院受入れの推進

(3) 医療従事者の確保

○ 医師の確保
 ・常勤医師の増員と1人診療科の解消
 ・非常勤医師による診療科の常勤化
 ・診療応援体制や当直体制の確保
 ○ 看護師等の医療従事者の確保
 ・看護師、薬剤師、医療社会事業士等の必要な専門職の確保

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション等)

○ リハビリテーション機能の充実
 ・急性期リハビリテーションの365日実施の継続と充実
 ・地域包括ケア病床でのリハビリテーションの実施

病院名	岩手県立大槌病院
-----	----------

診療科目	内科、外科、整形外科、皮膚科、眼科、リハビリテーション科
------	------------------------------

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	50					50
	稼働	50					50
	非稼働						0

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R02	27.2					27.2
	R03	23.2					23.2
	R04	19.8					19.8

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R02	54.4					54.4
	R03	47.4					47.4
	R04	39.6					39.6

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R02	23.9					23.9
	R03	22.8					22.8
	R04	18.9					18.9

病床機能(一般病床)	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R05報告			50			50
	R07見込			50			50

病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) なし

利用する補助金 ・なし
 あり 地域医療介護総合確保基金を利用
 その他(補助金名:)を利用

整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。

次ページへ続く

病院名	岩手県立大槌病院
-----	----------

2 病院の役割・特色

(1) 病院運営の基本方針、担う医療機能等

<p>1 病院運営の基本方針</p> <p>① 地域の医療機関等と支えあい診療機能の充実を目指します。</p> <p>② 地域住民から信頼される病院づくりを推進します。</p> <p>③ 良質な医療サービスを支える経営基盤を確立します。</p> <p>④ 満足度の高い医療サービスの提供を推進します。</p> <p>⑤ 環境の変化に柔軟に対応できる人づくりと明るく働きがいのある職場づくりを実践します。</p> <p>2 担う医療機能等</p> <p>内科、外科の入院機能を有した亜急性期・回復期(慢性期含む)の機能</p>
--

(2) 保有する検査機器等(エックス線、CT、MRI、内視鏡等)

<p>主な医療機器</p> <p>CT、X線一般撮影装置、X線TV装置、内視鏡システム、超音波検査装置、生化学自動分析装置、心電計、生体情報モニター</p>
--

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

<p>1 地域医療構想を踏まえた地域の医療機関等との連携推進への適切な対応</p> <p>2 地域医療福祉連携室を中心とした介護・保健・福祉との連携体制の強化</p> <p>3 地域包括ケア病床の地域への浸透</p> <p>4 一般生活者(住民)の視点から充実した在宅・生活復帰支援</p>

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

<p>1 訪問診療の拡充(体制強化)</p> <p>家庭環境(介護能力)の把握と行政等と連携した支援の実施</p> <p>2 地域包括ケア病床の地域への浸透</p> <p>(ときどき入院・ほぼ在宅)</p>

(3) 医療従事者の確保

<p>1 医療局医師支援推進室との連携強化による診療機能に応じた常勤医師の確保</p> <p>2 教育・研修体系等ホームページの活用と岩手県立病院看護科PR動画「私が岩手県立病院を選んだ7つの理由」の公開(情報発信)による看護師の確保</p> <p>3 医療者育成のための中学生高校生等への啓もう活動の実施</p> <p>4 ワークライフバランスを考慮した多様な勤務形態の継続</p> <p>5 勤務環境改善計画及び業務負担軽減計画の実施による働きやすい勤務環境の提供</p>
--

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション等)

<p>1 認知症対策</p> <p>① 各市町包括支援センターとの連携強化</p> <p>② アクティビティケアの実施</p> <p>週1回複数人の実施(令和元年度開始)に加え個別実施</p> <p>2 回復期リハビリテーション</p> <p>① 地域包括ケア病床利用患者(維持期)へのサービス提供</p> <p>② 一般病床利用患者(維持期)へのサービス提供</p> <p>3 緩和ケア</p> <p>がん患者への緩和ケアの提供</p>

病院名	独立行政法人国立病院機構釜石病院
-----	------------------

診療科目	内科、神経内科、小児科、リハビリテーション科、歯科
------	---------------------------

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	180					180
	稼働	180					180
	非稼働	0					0

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R02	174.1					174.1
	R03	172.9					172.9
	R04	170.3					170.3

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R02	96.7					96.7
	R03	96.1					96.1
	R04	94.6					94.6

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R02	101.8					101.8
	R03	107.1					107.1
	R04	1593.6					1593.6

病床機能(一般病床)	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R05報告				180		180
	R07見込				180		180

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) **なし**

○ 利用する補助金 **なし**
 ・あり 地域医療介護総合確保基金を利用
 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。

次ページへ続く

病院名	独立行政法人国立病院機構釜石病院
-----	------------------

2 病院の役割・特色

(1) 病院運営の基本方針、担う医療機能等

脳神経系疾患の重症慢性期を対象とした障がい者を対象とした特殊疾患療養病棟と幼少時からの中樞神経系疾患を中心とした重症心身障害児者医療を通じて国民への奉仕と医療の提供

(2) 保有する検査機器等(エックス線、CT、MRI、内視鏡等)

CT-16 列、X線単純(固定十ポータブル)、脳波計2台、心電図、腹部エコー、生化学分析装置、体組成計、血管伸展性検査計

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

重症慢性期の脳神経疾患の患者さんで、繰り返す肺炎などにより家庭/施設等での介護が困難になった患者さんを引き受けることで、地域の介護力をサポートする。

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

当院自体が在宅医療を直接行うのではなく、在宅医療を行っている診療所と連携してのサポート(レスパイト入院・症状悪化に伴う入院等)を行っていく。

(3) 医療従事者の確保

医療法の医師確保は最低限されているが、病院運営を含めた常勤医師の確保が必要。看護師も他の機構病院からの派遣で乗り切ることもあり毎年新卒を含めた募集が必要である。看護助手なども非常勤であるため募集が困難なことが多い。

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

年に1回は市民公開講座を開催し、脳神経系の疾患や病態を市民にわかりやすく解説・啓蒙している。リハビリや栄養管理室なども地域に貢献する活動に参加している。
 また、病床利用率は高いが、病棟の築年数が長いので、病棟建替計画を立てて待機中。2011年3月11日に建替については国立病院機構本部の承認を得たが、東日本大震災の影響にて入札が成立せず、現在保留中。
 黒字額の積み立ては15億円程度と重症児者病棟建替予算が8億円の23億円は確保しているが、新型コロナウイルスの影響で国立病院機構全体の経営が悪化しており、建替については依然として保留中である。

病院名	医療法人楽山会 せいてつ記念病院
-----	------------------

診療科目	内科・循環器科・糖尿病内科・腎臓内科・人工透析内科(透析センター)・外科・心臓血管外科・整形外科・眼科・皮膚科・泌尿器科・放射線診断科・臨床検査科・リハビリテーション科
------	--

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	119					119
	稼働	119					119
	非稼働	0					0

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R02	94.0					94.0
	R03	89.0					89.0
	R04	85.0					85.0

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R02	79.0					79.0
	R03	74.8					74.8
	R04	71.4					71.4

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R02	49.0					49.0
	R03	42.0					42.0
	R04	48.0					48.0

病床機能(一般病床)	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R05報告			119			119
	R07見込			119			119

○ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) **なし**

○ 利用する補助金 **なし**
あり 地域医療介護総合確保基金を利用
その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。

次ページへ続く

病院名	医療法人楽山会 せいてつ記念病院
-----	------------------

2 病院の役割・特色

(1) 病院運営の基本方針、担う医療機能等

ふれあいを大切に安心と生きる喜びを共に実感できる 最善の保健・医療・福祉サービスを提供し、地域社会から信頼される存在となる。

(2) 保有する検査機器等(エックス線、CT、MRI、内視鏡等)

- ・多目的一般撮影装置(2台)、胸部X線撮影装置、X線透視装置
- ・マルチスライスCT(64列)、MRI(1.5テスラ)
- ・免疫検査測定装置 ・血液ガス分析装置 ・生化学自動分析装置 ・血液学的分析装置
- ・X線骨密度測定装置 ・超音波画像診断装置 ・静量的視野検査計 ・光干渉断層計 ・白内障手術装置

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

- ・他院との連携強化(急性期病院からの回復期・慢性期患者の受入れ促進)
- ・法人外の介護福祉施設等および在宅介護サービス事業所等との連携強化(①施設、在宅からの受入れ ②施設、在宅への退院支援)
- ・法人内の地域医療連携推進室の人員増による入退院支援の強化
- ・特に透析患者で日常生活に困る方に対する支援または援助(1人暮らし等の透析患者に対する法人内施設を含めての受入れ促進)

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

- ・レスパイト入院の積極的受入れ
- ・在宅サービスの提供(訪問リハビリ・訪問介護・訪問入浴)による在宅医療支援

(3) 医療従事者の確保

- ・医師確保が最重要課題。関係大学、関係病院との連携の強化、紹介会社活用を含めて広範な採用活動を展開
- ・看護学生奨学金制度の継続、学生、生徒の職業体験実習の受入等により、医療従事者の確保につなげる。

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

- ・要リハビリ患者(入所者)の積極的受入れ
- ・認知症患者(入所者)の可及的受入れ
- ・在宅サービス(訪問リハビリ・訪問介護・訪問入浴)の提供による在宅介護の充実
- ・在宅介護支援センターによる認知症啓発活動
- ・いずれも、医療・福祉スタッフの確保が前提となる

病院名	医療法人仁医会(財団)釜石のぞみ病院
-----	--------------------

診療科目	内科、外科、眼科、精神科
------	--------------

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	52	102				154
	稼働	52	102				154
	非稼働	0	0				0

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R02	38.7	93.0				131.7
	R03	41.2	90.1				131.3
	R04	40.5	89.9				130.4

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R02	74.5	91.2				89.2
	R03	79.2	88.3				85.6
	R04	77.9	88.1				83.0

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R02	41.0	337.0				130.6
	R03	40.0	332.0				186.0
	R04	37.0	288.0				162.5

病床機能(一般病床)	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R05報告					154	154
	R07見込					154	154

病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) なし

次ページ 2へ

利用する補助金 なし
 あり 地域医療介護総合確保基金を利用
 その他(補助金名:)を利用

整備に係る概要について記載願います。

【現状】
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】
【整備計画】

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。

次ページへ続く

病院名	医療法人仁医会(財団)釜石のぞみ病院
-----	--------------------

2 病院の役割・特色

(1) 病院運営の基本方針、担う医療機能等

三陸沿岸南部地域での慢性期病院としての医療提供
釜石医療圏域での、急性期から慢性期までの切れ目のない医療提供の慢性期分を担う。

(2) 保有する検査機器等(エックス線、CT、MRI、内視鏡等)

・全身用エックス線CT装置
 ・診断用エックス線装置
 ・カセットレスエックス線透視撮影装置
 ・エックス線ポータブル撮影装置

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

・医療相談室の強化による入退院調整機能の充実を検討(自宅退院、施設入所を担う職員との連携を図る)

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

・医療相談室の強化による入退院調整機能の充実を検討(自宅退院、施設入所を担う職員との連携を図る)

(3) 医療従事者の確保

・看護師等医療職希望者への奨学金賞与による人材育成と確保を継続

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

病院名	医療法人仁医会(財団)釜石厚生病院
-----	-------------------

診療科目	精神科、神経内科、内科
------	-------------

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可				204		
稼働				170			170
非稼働				34			34

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R02				189.3		
R03				187.3			187.3
R04				170.0			170.0

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R02				92.7		
R03				91.8			91.8
R04				83.2			83.2

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R02				994.0		
R03				1101.7			1101.7
R04				1181.0			1181.0

病床機能(一般病床)	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R05報告						
R07見込							0

○ 病床機能等の再編予定 **あり** (運用開始予定時期) 未定 **なし**

○ 利用する補助金 **なし**
 あり 地域医療介護総合確保基金を利用
 その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	・患者数の減少 ・建物・設備等の老朽化
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	・系列病院との統合も視索中

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。

次ページへ続く

病院名	医療法人仁医会(財団)釜石厚生病院
-----	-------------------

2 病院の役割・特色

(1) 病院運営の基本方針、担う医療機能等

- 地域医療への貢献
- 患者等への心身のケア
- 精神科の正しい理解の普及
- 看護師、准看護師、作業療法士などの育成支援
- 精神科病院、精神障害者地域活動支援センター、精神障害者共同生活援助事業所
- 認知症疾患医療センター(連携型)

(2) 保有する検査機器等(エックス線、CT、MRI、内視鏡等)

エックス線、脳波計、心電計(3台)、心電図モニター(4台)、超音波(1台)、分光光度計、インフルエンザ分析機(簡易)

3 2025年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

- ・ 医療相談室における介護サービス等の利用案内、相談受付

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

- ・ 精神科訪問看護の実施
- ・ 訪問看護ステーションとの連携
- ・ チームかまいたし関連研修会への参加
- ・ 医療機関への紹介・逆紹介

(3) 医療従事者の確保

- ・ 医師については、関係大学に対する派遣要請や、有料人材派遣会社の活用などを行うほか、関連病院からの診療応援を継続しつつ、その充足に努める。
- ・ 看護師及び准看護師については、ハローワーク、看護協会及び有料人材派遣会社の活用を図っているほか、病院独自の奨学金貸付制度を設けるなど、人材確保に向けて多様な手段でアプローチを行っている。

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

- ・ 関連機関との連絡調整
- ・ 外来、入院診療実施
- ・ 介護サービスの利用案内・相談受付

具体的対応方針(江子医院の役割と機能)

所在地: 釜石市越町2丁目番10号

江子医院

1 診療科目

診療科目	内科、外科、小児科、産科
------	--------------

2 病床機能

病床機能		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	合計
病床機能 (稼働)	R4報告	0	0	0	0	16	16
	R7見込	0	0	0	0	16	16

3 その他(他の医療機関との機能連携等)

平成23年 8月16日全休床としている。今後地域の医療需要を考慮してからの病床機能の転換と検討していく

具体的対応方針(堀耳鼻咽喉科眼科医院の役割と機能)

所在地: 堀耳鼻咽喉科眼科医院

1 診療科目

診療科目	眼科、耳鼻咽喉科
------	----------

2 病床機能

病床機能		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	合計
病床機能 (稼働)	R4報告	0	0	0	0	5	5
	R7見込	0	0	0	0	5	5

3 その他(他の医療機関との機能連携等)

- 眼科、耳鼻咽喉科領域の検査及び治療を専門的に行っており、主に県立釜石病院と連携をしている。
- 現在5床全て休床としている。今後、地域の医療需要を参考にしながら病床機能の転換を検討していく。

